

議事録(抄)

提出日：令和2年11月17日

会議名	整理番号
令和2年度 平戸市介護保険事業計画等策定委員会（第3回）	
出席者（委員）	日時
宮本委員（会長）、末吉委員、佐藤委員、曾川委員、 塚本委員、藤島委員、浜田委員、濱崎委員、池田委員、 山田委員、川口委員、宮崎委員、福浦委員、松永委員、 小崎委員、（順不同） 【15名出席】	令和2年11月13日（金） 15：00～16：30
出席者（事務局）	場所
福祉部長 榊田、長寿介護課課長 尾崎 長寿介護課 井上、松本、川淵、藤井、田中 ぎょうせい：松尾、長澤	平戸市社会福祉協議会 集会室

協議内容

●資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1：「第8期平戸市高齢者福祉計画・平戸市介護保険事業計画」素案
- ・ 資料：第8期介護保険事業計画 給付見込（令和2年10月推計値）（当日閲覧のみ）

●配布資料確認

●開会

●会長挨拶

（会長）お忙しい中、第3回策定委員会への出席ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は、至る所で第3波が来ているとのこと。ウイルスが消滅したわけではないので、マスク、手洗いなど引き続き感染予防に気を付けることが大事。本日は、素案ができ上がり、皆さんの審議をお願いするところ。十分な審議が行われるよう、委員各位にはご協力をお願いしたい。

●会議成立の確認

（事務局）委員の過半数出席により会議成立となる。（15名出席）。

【以降、会長による進行】

●議事

（1）第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の素案について

・資料1に沿い事務局より説明

(事務局) 素案は、前回示した骨子案に沿って構成されている／p 9、日常生活圏域は7期と変更なく7圏域とする／p 13、人口構造／p 17、タイトルは認定率の推移の間違い、修正する／p 56まではすでに報告の通りのため省略／p 59、平戸市が目指す高齢社会像、7期を引き継ぐ。平戸市未来創造羅針盤(総合計画)の未来像の基本プロジェクトの要素が含まれている／p 60、基本方針／p 61、施策体系／p 62、地域包括ケアシステムのイメージ／p 66以降、事業の主なものを説明／今回より事業には担当部署を記載することとした／p 69、健康づくり推進員設置事業は内容精査中／p 72、高齢者いきいきおでかけ支援事業は新規／p 77、災害及び感染症に対する備えは新規、内容検討中／p 78、介護職人材確保支援事業、事業者アンケートでも課題の多かったところ。様々な取り組みを進めているところ、継続・推進・改善していきたいということで掲載／p 82、通所型サービスCが開始となった／p 89、認知症サポーターの養成、チームオレンジについて記載を追加する。サポーターがステップアップしてチームオレンジとして・・・と追記予定／p 97、地域包括の視点を記載／p 99、圏域についての状況を p 106まで記載する予定／p 107、圏域ごとの事業所数、地図での表記を追加する予定、多数の事業所があるのでどう載せるか検討中／p 111、介護保険事業推進の視点を記載予定／p 114、認知症高齢者数の推計は検討中であり次回提示／p 115～、各サービスの実績と目標である／p 122の定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護は検討中である／p 127以降、事業費の見込みとなる、議題2で説明する／p 131～、保険料基準額の算定、次回、案を示す／p 137、国の指針に沿って令和7年、22年を予測する。給付費は検討中である／p 139、介護人材需給の推計は国WSを使っでの作業となる。検討中／資料編、委員名簿については団体名、お名前などご確認をお願いしたい／など

【質疑】

(委員) 高齢者の住環境などはまちづくり協議会でも検討しているが、そこでの連携は考えているか。まちづくり協議会であげられている課題や取組との連携についてはどうか。

(事務局) 現在の文面には出てきていないが、職員が協議会に参加させていただくなど連携は行っている。文章の内容に反映していくようにしたい。

(委員) 高齢者の住まいは大切に、市の職員だけでは目が届かない。まちづくり協議会が実態を把握しているので連携をよろしくをお願いしたい。

(委員) p 90、成年後見制度について。認知症高齢者が増えている中で、成年後見制度の利用も増えると他自治体の例でも聞いた。ここに数値目標をあげることはできないか。

(事務局) 市長申し立ては増えており、今年度も実例がある。計画の中で実績を出すこ

とはできると思うが、目標としては適切な支援を行うということになるかと思う。記載方法を検討したい。

(委員) p 77、避難行動要支援者ネットワークシステムの運用。今年、台風・災害など多かったが、ネットワークは有効に働いていたのか。私たちの地区では、リストの名前の更新がされていなかったなどの問題があった。デイサービスなどを使っている人は対応もできたが、足がちょっと悪いという方などは災害時に立ち上がる、起きるだけでも大変だろうと日頃から感じている。水道が止まるということも考えられ、貯水など行い、簡易トイレなどにも予算をつけて対応してもらえるとよい。地区により食品が確保されたと聞いているが、こちらでもちょっとした毛布、おにぎりを届けるなどした。こういったことも予算化されるとよい。食料の配給など考えてもらえるとよい。

(事務局) 避難行動要支援者は区長を通じて一人で避難できない人の名簿を毎年作っており、現在300人程度いる。本人承諾の名簿なので実際はもっといるだろうと思う。台風9号は思ったよりひどく、10号も大変と予測があって、避難所が過去にないほど混雑した。この経験は、言い方は悪いかもしれないが、市民も行政も勉強になったと思う。水道など、総務課で検討しているところである。平戸市は避難が長引いたり、大規模な避難ということはこれまでなかったが、今回は多くの避難の必要性が見えた。停電の際のトイレ使用など、さまざまなことについて、行政の方で対応をしていきたいと検討している。

(会長) 災害時の対応については市の方で対応を進めてくれていると思う。区長さん含めて各地で議論を進めてもらいたい。

(委員) p 89、認知症ケアパスの作成・普及。認知症と思われる方はいるが、どこまで声をかければよいのかなど迷うことが多い。声をかけにくい。このケアパスがわかりやすくできていればよいのと思う。パスがあればそこから誘導できる。

(事務局) 認知症ケアパスについては、平成29年に初版を作成している。当時、民生委員などの関係者に配布した。今回、改訂したので、これから配付するところである。民生委員さんなど、ぜひご活用いただきたい。お届けが遅くなったことをお詫びする。

(委員) p 122、地域密着型サービス。24時間の対応や夜間対応は、住み慣れたところで最期まで暮らしたいという願いが多いのにそれがないため断念している状況である。可能性を探っていくと書かれているが、もう少し前向きにできないか。今からでも少しでもできることを模索していかなければと思う。

(事務局) 前回の委員会でアンケート結果等でご説明したが、定期巡回、夜間対応について、必要とは思ふものの、ほかのサービスで対応できているという側面もあり、他のサービスで対応していきたいと考えている。

(委員) p 16、認定者数の推移に事業対象者が含まれていない。掲載するとよい。p 75～など、利用人数、実人数、実利用者数など混在している。p 82、訪

問型・通所型サービスの、A・B・Cの内容説明があるとよい。

(事務局) 各記載確認する。p16の事業対象者は載せるよう検討する。実人数、延べ人数の混在は正す。訪問型・通所型サービスについては説明を加える。

(委員) 介護予防把握事業について書き、介護予防の掘り起こしについて書かれているとよい。

(事務局) どのように把握しているかなど記載していきたい。

(委員) その時に民生委員の活躍などがあると思うのでぜひ入れるとよい。

(委員) p131、介護保険料の算定では、現在のコロナウィルスの影響がいろいろあると思うが、考えているか。

(事務局) 第8期の保険料算定では、コロナウィルスによる影響は考えず、通常期と同等に需要を考えていきたい。

(委員) すぐにコロナウィルスはなくならないと思う。

(事務局) コロナウィルスの影響による所得の低下などについては減免措置などを講じているところである。

(委員) p78、介護職人材確保支援事業。各種調査で課題があったとの説明があったが、どのような方策を考えているか。あれば教えてほしい。

(事務局) 介護職人材確保支援については、さまざまな事業の展開など細かく実際に行っているが、ここではあまり詳細は記載されていない。今後も県の取組と連携していこうと考えている。専門学校を訪問、各事業所で学生に体験してもらったり、映画の上映会など実施している。すべての人が市内の介護職に就いてくれるかどうかはわからないが、取組を行っている。介護職のイメージアップなども。夏休みに介護職について学生に考えてもらうために、ポスター掲示や、専門学校などを訪問してのヒアリングなども行っている。テコ入れしてやっていきたいと考える。

(事務局) アンケートを踏まえてというのは、先ほど定期巡回、夜間対応などの話もあったが、サービス事業者へのアンケートでは事業拡大の意向がなかった。ケアマネジャーさんのアンケートからは、そういったものがあればよいという意見はあった。他のサービス、ショートステイなどで代替をしながら検討を続けたい。アンケートの内容精査も必要で、ヒアリングなどの補足も必要かもしれない。事業者のアンケートでは、介護職だけでなく、専門職もリハビリ職も不足と見えてきており、現状がわかってきている。引き続き検討が必要と考えている。これは8期、9期と続けていくものとする。

(委員) p92、介護給付費適正化事業で、住宅改修の点検が急激に数字が増えるのはなぜか。

(事務局) 住宅改修は、現場に行くことのできたものを実績としている。目標について、住宅改修等の点検は、建築関係の専門家、ケアマネジャー、住環境コーディネーター2級の方などが内容を確認すればよいということになっており、住環境

コーディネーター2級の職員2名体制で、今後全件チェックができるという体制になるため、増えている。

(委員) 権利擁護の推進について、平戸市は大変なのに、なぜなくなったか。

(事務局) 総合相談支援・権利擁護事業としてp88に入っている。

(委員) p87、地域ケア会議の充実。今年度、SC(生活支援コーディネーター)が全域に配置されるはずだが、地域ケア個別会議が減っているのはなぜか。

(事務局) 今年度は7圏域で2か月に1回の会議を行っていた。来年度から回数を減らしているのは3か月に1回、7圏域ごとに年4回を予定するもの。回数を減らす理由は、新規の認定者の減少、事例の提供が全体的に減ってきている。モニタリングはもちろん行っている。また会議の実施そのものが目的ではなく個別事例のアフターフォローのネットワークづくりなどの方に活動を重点化していきたいと思っている。各圏域の生活支援コーディネーターさんの協力を得ながら行いたい。

(委員) p86、食の自立支援が、7期に減ったのはなぜ。また、今後の目標の根拠は。

(事務局) 7期の目標で減っているのは、申請件数(新規)が少なかった。施設入所などの利用者減少もあった。ゆえに予測より減った。今後の予測は今年度の見込みから増やす方向でと設定したもの。令和2年度の実績見込みに基づいて、継続していくことも含め設定したもの。

(委員) p77、災害及び感染症に対する備え。災害と感染症は一緒ではなく個別にした方がよい。「各避難所では・・・」の記載について、実際にコロナウィルスでマスク配布など行っているところだが、こういった物的な支援も予定するのか。

(事務局) 本項目、災害と感染症は検討中である。避難所の感染症対策については、現在も行っている、検温、マスク配布などを行っており、対応できていると考えている。

(委員) p76、交通安全対策。高齢者を対象とした研修会のほか、免許証返納とか、高齢者いきいきおでかけ支援事業とリンクしているものもあるだろうが、どうか。

(事務局) 交通安全は、総務課と長寿介護課で協力して老人クラブに依頼して警察からのお話や、メーカーの事故防止装置の体験などを実施している。来週も行うことになっている。今年度から各地区老人クラブ連合会7か所が3年ごとに地区を回りながら講習会を行う予定である。

(事務局) 「高齢者いきいきおでかけ支援事業」については、社会参加を主目的としているものである。免許証返納者も対象としているが、交通安全よりも社会参加を主目的としており、ここへの掲載は検討したい。

(会長) 他にあるか。なければ議題の2へ進みたい。

●議事

(2) 給付見込みについて

・資料2に沿って事務局より説明

(事務局) 本見込みは、「見える化」システムという厚労省のシステムを使用して試算している／11月時点のもので暫定である／被保険者数は減少、令和5年以降もこの傾向／認定者数、総数は令和3～5年はほぼ横ばいないし微増。令和7年までは増加だが、令和12年～は減少／介護予防サービス、介護サービスの利用見込み量は素案に記載しているものと同じである／介護予防サービス、在宅の伸び率が大きく居住系は横ばい／介護サービスは在宅、居住系、施設から成り、合わせたものが増加／令和2年が令和元年より減っているのは、年度前半の新型コロナウイルス感染症による影響が現れていると思われ、国から補正方法の通知も来ている。令和元年を参考に推計するなどの方法が示されている／後期高齢者の増加などあり、増えていくことも予測している／第1号被保険者1人あたり給付月額、グラフ横軸で、施設サービスが実績3年間減少している。介護4、5の減少と感染症の影響も有り得る／国からの補正方法など参考に今後精査していく／本資料は、本日のところは要返却でお願いします／など

【質疑】

(会長) 意見・質問はあるか。

・特になし

●議事

(3) その他

(事務局) 今回が3回目の策定委員会だが、4回目は12月中に開催したいと考えている。時期は改めてみなさまに諮りたい。よろしくお願ひしたい。4回目で協議は折り返しとなり、あとは1月、そこで承認いただいたものでパブリックコメントを行い、3月で最終という流れである。

以上